

昭生病院news



皆様におかれましてはご健勝のこととお慶びを申し上げます。

昭生病院に着任しまして早や1年以上経過しました。その間、救急医療はじめ、地域医療への貢献を目指し院内の医療環境の整備に努めてまいりましたが、未だ道半ばです。今後さらに精進をしてみたいと存じます。

さて社会情勢に目を向けますと、消費税の再増税が見送られ家計負担にとっては良いことなのでしょうが、一方社会保障費の財源確保につきましてはさらに厳しい状況となり、今後益々診療報酬、介護報酬へのしわ寄せが来そうな情勢となっています。

そのため、これまで徐々に進んできました在宅医療への重点化にさらに加速が付きそうな予測となり、「地域包括ケアシステムの構築」という、少ない社会保障財源の中でできるだけ病院ではなく（施設も含め）在宅での療養を、と声高に叫ばれようになり、より一層地域（在宅）での高齢者医療、高齢者介護の重要性が高まることとなります。

そのような情勢の中での今後の昭生病院の在り方、地域医療への関わり方を考えますと、急性期や超急性期を担う大病院と在宅療養へのスムーズな橋渡し、また、在宅医療を担われていらっしゃる近隣のクリニックの先生方との密な連携、スムーズなベッド確保、というものがさらに重要となってくるだろうと思われまます。

これまで以上に地域に目を向け、地域住民、クリニックの先生方、さらには各施設の方々から信頼され安心して利用していただけるような病院運営を行う、その一環として、長らく灘区で途絶えておりました腎不全に対する透析医療の提供や、認知症への積極的な取り組みの第一歩としての物忘れ外来の開設をし、地域の医療ニーズへの対応をさせていただきました。

今後も地域医療を共に支える一員として、病院対病院、クリニック対病院で良い連携をとることが患者さんの利益につながることは明白ですし、そのためにも外との連携を上手に図ることはもとより、院内の風通しをよくし、外からも見えやすい病院の体制作りが重要だと考えます。その考えのもと、まずは病院広報誌を季刊発行させていただくことになりご挨拶を申し上げます次第です。

今後共ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



昭生病院院長 和田 義孝

健康セミナー のお知らせ

参加無料
お気軽にお問合せ下さい!

10月27日(木) 14:00~14:45 脳活性体操

神戸ヤクルト 藤原 和子先生

11月19日(土) 14:00~14:45 糖尿病と眼

滋賀医科大学眼科学名誉教授 可児 一孝先生

		月	火	水	木	金	土
午前診 9:00~ 12:00	1診	大久保	和田(義)	和田(昇)	村上 小山(第3木)	和田(義)	和田(昇)
	2診	和田(義)	黒瀬	和田(義)	西崎	島	中山

午後診 16:00~ 18:30	1診	村上	和田(義)	和田(昇)	大久保	島	
------------------------	----	----	-------	-------	-----	---	--

一般病棟34床
療養病棟(医療型20床、介護型49床)

無料送迎有 駐車場有
◎ 透析のご見学、ご相談は、
随時受け付けております。



☎ 078-881-5500

📠 078-881-5948

🏠 <http://www.syousei-hospital.jp/>

神戸市灘区鶴甲3丁目13-19



血液透析を専門とする透析室が 2016年7月1日にOPENしました。



昭生病院は、都心部でありながら、緑に囲まれた空間であるという立地条件に恵まれています。患者様からも「緑がある風景は心が和む」「落ち着きますね」とご評価をいただき、透析時間をのんびりと過ごせる環境にあります。

しかしながら、透析患者様の近年の傾向は、高齢化、長期化、糖尿病に伴う循環不全という特徴を持ち、ADLやQOLが下がる傾向にあります。当院では、加齢によるADL低下や脳血管障害の後遺症、認知症状などで通院困難となった場合、急性期病院での入院治療が終了したものの、在宅復帰が心配で、リハビリ（日常生活支援）が必要な場合などに積極的に対応いたします。様々な入院透析に関して、お困りの際は是非ご相談ください。また、地域の透析医療に少しでも力となるため、灘区唯一の透析医療を提供させていただいています。近隣の透析患者様の身体的な負担を軽減し、安全で快適な日常生活向上のサポートが出来ればと思っております。



透析ベッド数は13床と小規模ではありますが、その分、個々の透析患者様へのニーズに沿う透析ができるのではないかと考えております。また1床は、感染症に対し、空気の質にこだわったHEPAフィルタを搭載した個室を完備し、患者様の病状や経過にあわせて、安全な透析を行います。

厳格な水質管理の下、クリーンな透析液を安定供給できるため、全台On-Line HDF可能な最新透析システムを採用し、高度な透析医療を提供いたします。

医師・看護師・臨床工学技士がチームとして、心身両面からのケアで苦痛を最小限にし、患者様のQOLが順調に回復に向かうことができるよう務めております。



鶴甲まつり

鶴甲自治会の夏祭りに初参加しました。



敬老会

ギターの弾き語り

インフルエンザ

日本での流行は11月頃から始まり、1～3月頃がピークです。
予防のために**こまめな手洗い**、うがいをしましょう！

主な感染経路

- ・咳やくしゃみ等で空気を介する **飛沫感染**
- ・人もしくは汚染された物を介する **接触感染**

症状

- ・急な発熱
- ・悪寒
- ・関節痛
- ・筋肉痛

重症化・ ハイリスクの要因

- ①65歳以上
- ②乳幼児
- ③喘息
- ④慢性心肺疾患
- ⑤糖尿病
- ⑥腎障害
- ⑦免疫不全
- ⑧妊婦



重症化・ハイリスクの要因に当てはまる方は
ワクチン接種で重症化を防ぐことも可能です。

当院では10月中旬よりワクチン接種を開始いたします。

糖尿病教室

今回は自分の好きなものをとるbuffet形式で、各自、カロリーでの単位のご飯とおかずを選び、その場で管理栄養士がチェックし、食事が出来るというスタイルで行われました。

野菜のおかずは2品、果物は1品としました。

4ヶ月毎の食事会ですが、勉強の効果てき面
でみなさんご飯の計量は1発クリアでした。

一番好評だったおかずは、ひじきの煮物でした。

ひじきの煮物 レシピ（1人前）

材料

ひじき 5g 人参 10g
しょうゆ 5g 砂糖 3g
かつお出汁



- ①ひじきを水で戻す
- ②人参を千切りにする
- ③先にひじきだけを出汁で炊く
- ④途中で人参を入れ、全体に柔らかくなったらしょうゆ、砂糖を入れる
- ⑤しばらく炊く

